

ビルメンテナンス科

※カリキュラムモデル科名：ビル管理技術科

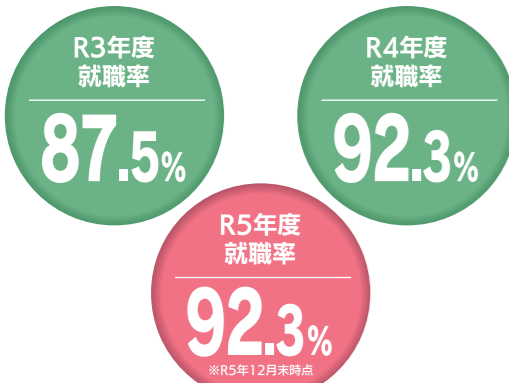


| 修了生の活躍事例



株式会社 日本管財環境サービス
土井 紀人さん

- **職場では**
現在は、下水処理場、汚水ポンプ場、雨水ポンプ場の日常点検、水質検査、機器の保守・保全、施設内の清掃及び草刈りなど、幅広い業務を担当しています。
覚えることが多く大変ですが、新しい知識を得られ楽しい毎日です。
- **コメント**
ビルメンテナンス科は、電気・空調・消防・給排水衛生など幅広く学びます。その中でも、電気の基礎・シーケンス制御等の知識が、特に役に立っています。将来、どんどん資格試験に挑戦し、会社に必要とされる社員になりたいと思っています。



費用等

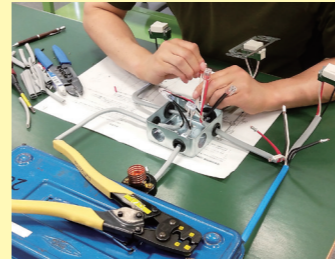
- ◆テキスト代：約11,000円
- ◆各自で用意するもの
作業服、作業ズボン、作業帽子、安全靴、保護メガネ、作業手袋
 - 作業服・作業ズボン(長袖・長ズボン)(ツナギや前職で使用していたものでも可。夏冬の選択は各自で判断。汚れが目立ちにくい色を推奨)
 - 作業帽子(汚れが目立ちにくい色で無地のもの。メッシュ地は不可)
 - 安全靴(先端に金属または樹脂のプレート入り。外皮は合皮または皮製のもの)
 - 保護メガネ(ポリカーボネート製のもの。眼鏡の方はゴーグルタイプを推奨。)
 - 作業手袋(やぶれにくいもの)

※訓練期間中、受講生のみなさんが習得した技能を活かして任意に受験して取得できる資格の一例です。(但し、合格を保証するものではありません。詳細は各実施機関へお問合せください。)

資格関係

- ◆訓練受講中に取得できる資格などなし
- ◆任意受験により取得可能な資格(試験月)*
 - 第二種電気工事士(学科:4~5月、9~10月/技能7月、12月)
 - 消防設備士乙種(第1類・第4類・第6類)
 - 二級ボイラー技士 ●危険物取扱者乙種第4類
 - 第三種冷凍機械責任者(11月)

8月 2月



電気の基礎

- 電気の基礎知識
- 配線の基礎知識
- 工具の使用法
- 配線図の見方

▲電気配線作業(電気工事士技能)

11月 5月

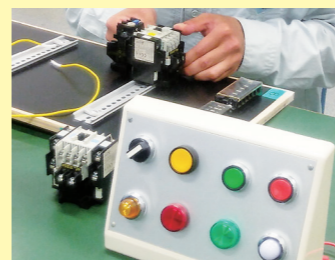


空調設備

- 空調設備の知識
- エアコンの取り付け・取り外し

▲エアコンの取り付け

9月 3月



電気設備

- 有接点シーケンス制御(電動機、給排水)
- 受変電設備保全

▲シーケンスの配線作業

12月 6月



給排水設備の管理

- 給排水衛生設備の知識
- 建築配管施工
- 衛生設備施工

▲洋式便座の施工

10月 4月



消防設備・ボイラー設備

- 消防設備の知識(自動火災報知設備・消火栓・消火器)
- ボイラー(構造・燃料燃焼・法令)

▲自動火災報知設備の構成

1月 7月



ビルクリーニング・危険物取り扱い

- ビルクリーニング
- 危険物(引火性液体)
- パソコン活用

▲ビルクリーニングの床磨き

どんな科?

ビル等の建築物の電気設備や空調設備、給排水設備のメンテナンス及び防災設備の管理に関する知識・技能・技術を習得し、ビル管理業務等で活躍できる人材の育成を目指します。

こんな人におすすめ!

- 電気、空調、給排水衛生設備などの設備の運転や維持管理・保全に関心がある人
- ビル設備管理に興味がある人
- 各種設備工事の仕事を目指す人
- ビル管理に必要な資格に興味がある人

主な就職想定先(職種)

- 電気工事会社(電気工事士)
- 給排水衛生設備会社(配管工)
- ビル管理会社(設備点検、保守)
- 防災設備会社(消防設備点検・工事)

職業訓練指導員(テクノインストラクター)からのひとこと

就職に有利な資格を取得したい方が多く入所される科だと思います。それぞれ自分自身の進みたい分野を決め、希望の就職を実現するための手段として、活用してください。資格取得はゴールではありません。資格取得にとらわれず、早期就職を目指す方をお待ちしております。